

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 82号

2014/02/03 発行
株式会社 立花商店
生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：先週に続き更に大きく相場上昇が続いた。早々に1900£に到達するか。

①週最高：5月 LDN 市場£1,839 /3月 NY 市場\$2,933 (1/30) 先週比 **LDN + £ 74/NY +\$141**

②週最低：5月 LDN 市場£1,818 /3月 NY 市場\$2,889 (1/27) 先週比 **LDN + £ 113/NY +\$97**

週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£21 (傾向↑) / NY 市場\$44 (傾向↑)

週内建玉推移：LDN市場 240,561 枚(1/24 終了時)⇒254,573 枚 (1/30 終了時) **+14,012 枚**

NY市場 213,589 枚(1/24 終了時) ⇒222,831 枚 (1/30 終了時) **+9,242 枚**

【1月27日(月)】両市場とも大幅続伸

国際ココア機関 (ICCO) が先週、世界在庫が減少し供給不足が予想を上回るとの暫定データを示したことから、供給懸念が再燃している。

ニューヨーク市場の3月きりは、2年半ぶりの高値の2904ドルを付けた後、上げ幅を縮小し、97ドル (3.5%) 高の**2889ドル**で引けた。ロンドン市場の5月きりも、2番ぎりとしては2011年9月以来の高値となる1821ポンドを付けた後、53ポンド (3%) 高の**1818ポンド**で終了した。

【1月28日(火)】ロンドン、ニューヨークとも2年半ぶり高値

ココア先物は、強い需要やテクニカルな買いに支援され商いを伴い、2年半ぶりの高値に上申した。

ロンドン市場の5月きりは、5ポンド (0.3%) 高の1823ポンドと続伸。一時は1840ポンドと2番ぎりとしては2011年9月依頼の高値を付けた。

ニューヨーク市場の3月きりは、16ドル (0.6%) 高の2905ドルと続伸。テクニカル的に強気な見方を背景に、一時は2933ドルと2年半ぶり高値を付けた。カカオ豆主産国のコートジボワールでは、港への着荷量が予想を上回っているものの、今季の世界的な供給不足観測に再び市場の関心が向かっている。

【1月29日】両市場とも続伸

ニューヨーク市場の3月きりは13ドル（0.4%）高の2918ドルと、続伸して引けた。あるアナリストは「短期的には、2800～2900ドルの水準である程度値固めするだろう」と指摘した。ロンドン市場の5月きりは8ポンド（0.4%）高の1831ポンドで引けた。1800ドル強が下値支持線。

【1月30日（木）】ロンドン続伸＝ニューヨークは反落

ロンドン市場の5月きりは8ポンド（0.4%）高の**1839ポンド**で引けた。対ドルでのポンド安や、ケイ線要因が相場を下支えし、一時は2011年9月以来の高値となる1842ポンドまで上昇した。一方、ニューヨーク市場の3月きりは反落し、6ドル（0.2%）安の2912ドルで終了。月末を前にトレーダーが買い持ち高を減らしたほか、ポンド安が重しとなった。ただ、28日に付けた2年半ぶりの高値の**2933ドル**近辺の水準にはとどまっている。取引所のデータによると、29日時点の未決済約定残高は前日比2807枚増の22万1662枚。これは昨年11月6日以来の高水準となる。

【1月31日（金）】ロンドン市場反落＝ニューヨークは小幅続落

ロンドン市場の5月きりは反落し、8ポンド（0.4%）安の1831ポンドで取引を終えた。一時1855ポンドまで上伸、2011年9月以来の高値を付けたものの、あと値を消した。トレーダーによると、需要の伸びが生産を上回っており、13～14年度の世界のココア需給は2年連続で供給不足になる見通し。ニューヨーク市場は小幅続落。3月きりは1ドル安の2911ドルで大引けた。28日に2年半ぶり高値の2933ドルを付けたのを受け、市場には一服感が出ている。

2、ブラジル：カカオ豆の出荷量、昨年比で22%下落(1/29)

バヒア州（ブラジル北東部）商業組合が示すデータによると、ブラジル国内の主要なカカオ豆の産地と輸入業者からのカカオ豆の出荷は、2013年5月1日から2014年1月26日にかけて昨年比で22%下落している。

2013/2014期（2013年5月1日～）カカオ豆（60kg入り袋）の出荷数量

	<u>先週</u>	<u>合計</u>
バヒア州	38,460	1,971,518
その他の州	17,691	731,501
その他の国	129,149	244,005
合計(袋の数)	185,300	2,947,024
合計(トン数)	11,118	176,821

2012/2013期（2012年5月1日～）カカオ豆（60kg入り袋）の出荷数量

	<u>先週</u>	<u>合計</u>
バヒア州	66,231	2,617,619
その他の州	10,531	894,438
その他の国	0	284,315

合計(袋の数)	76,762	3,796,372
合計(トン数)	4,606	227,782

3、国際カカオ機関 ICCO、カカオ豆の供給不足量幅を下方修正(1/29)

国際カカオ機関 ICCO は 2012/2013 期の世界的なカカオ豆の供給不足量は、前回の在庫調査によると年間 31 万トンであったが、実際はそれよりも小さいものとなったと発表した。

カカオ豆価格は先週、ICCO が「カカオ豆の在庫はすでに 30 万トンほど減少しており、これはトレーダーが予想しているよりも世界のカカオ豆の供給不足が深刻である」と述べたことを受けて急激に上昇した。ICCO によれば、世界のカカオ豆の在庫は過少に見積もられており、その理由は在庫調査地域に含まれていない場所に存在する在庫がまだ相当量あるからであるとのこと。

カカオは、カカオ豆の供給不足(2012/2013 期)を 16 万トンとする見込みを変えないという。

4、コートジ：先の 2013/2014 期のカカオ豆の販売量が 145 万トンに到達(1/28)

世界でトップのカカオ豆の生産国であるコートジは、すでに 2013/2014 期に収穫されるであろう全てのカカオ豆の先物販売を終了し、その数量は 145 万トン以上になる見込みであるという。

情報源である財務省は「我々はここ最近まで、すでに 145 万トン以上のカカオ豆を販売している。そして来シーズンに向けて、販売に全精力を注力していく。」という。

5、コートジボワールのカカオの生産地域に乾燥気候が広まる(1/27)

コートジの主要なカカオ産地の一部では先週から乾燥気候が続いている。農家は「この乾燥気候は 4 月～9 月のミッドクロップの収穫に脅威となる」という。

ディーラーはコートジの港に集荷されるカカオ豆の数量に細心の注意を払っている。メインの収穫期に向けて悪天候が懸念されたにも関わらず、前のシーズンよりもはるかに速いペースでカカオ豆が集荷されている為のその反動で今月は著しい減速があると予測されている。

コートジは 11 月中旬から 3 月まで乾季が続き、その間は時々雨が降る。

農家は「良い豆をつくる為に、1 月から 2 月下旬までは 1 週間に 1 度は雨が降る必要がある。そしてミッドクロップの収穫の最初の月には、品質向上のために降雨からカカオ豆を守る必要がある。」という。

コートジの売上の 1/4 を担う中西部の Daloa (下の地図上で赤枠) という地区では、農家は今後 3 週間雨が降らないだろうと予測している。「ミッドクロップの木には良い状態の葉や花がついている。ただ 2 月中旬まで雨が降らないと、落ちてしまうだろう。」と Daloa の農家はいう。

カカオ豆の品質が良いことで知られる東部の地区の Abengourou (青枠) では、農家は乾季が続くことへの懸念を述べている。

「土が乾いて、一部の地区ではひび割れが入っている。あるカカオの木では葉が乾燥してしまった。もしこの乾季が続けば、ミッドクロップは 5 月か 6 月上旬まで始まらないだろう。」とガーナの国境近くの

Niableに住む農家はいう。

また南部の San Pedro (オレンジ枠) の海岸地区の農家も 1 週間雨が降っていないと述べた。

「まだメインクロップのカカオの実 (カカオポッド) がいくつか残っているが、もしもこの乾季が 2 月まで続けば、ミッドクロップのカカオポッドは小さいものとなり、実がなるのも遅くなるだろう」と San Pedro の農家はいう。

西部の Soubre(緑枠)では、降水量の不足に関わらず土の水分値が高い為、カカオ豆の成長の状況は良好である。Man (茶色枠) の西部では十分な雨量があること、暑い気候であることが報告されており、Duekoue (黒枠) の西部でも同様な良い栽培条件が報告されている。

Duekoue の農家は「いくつかの地域では雨が降っており、ミッドクロップへ期待が持てる。メインクロップの収穫は減少しているが、3 月には良くなるだろう。」という。



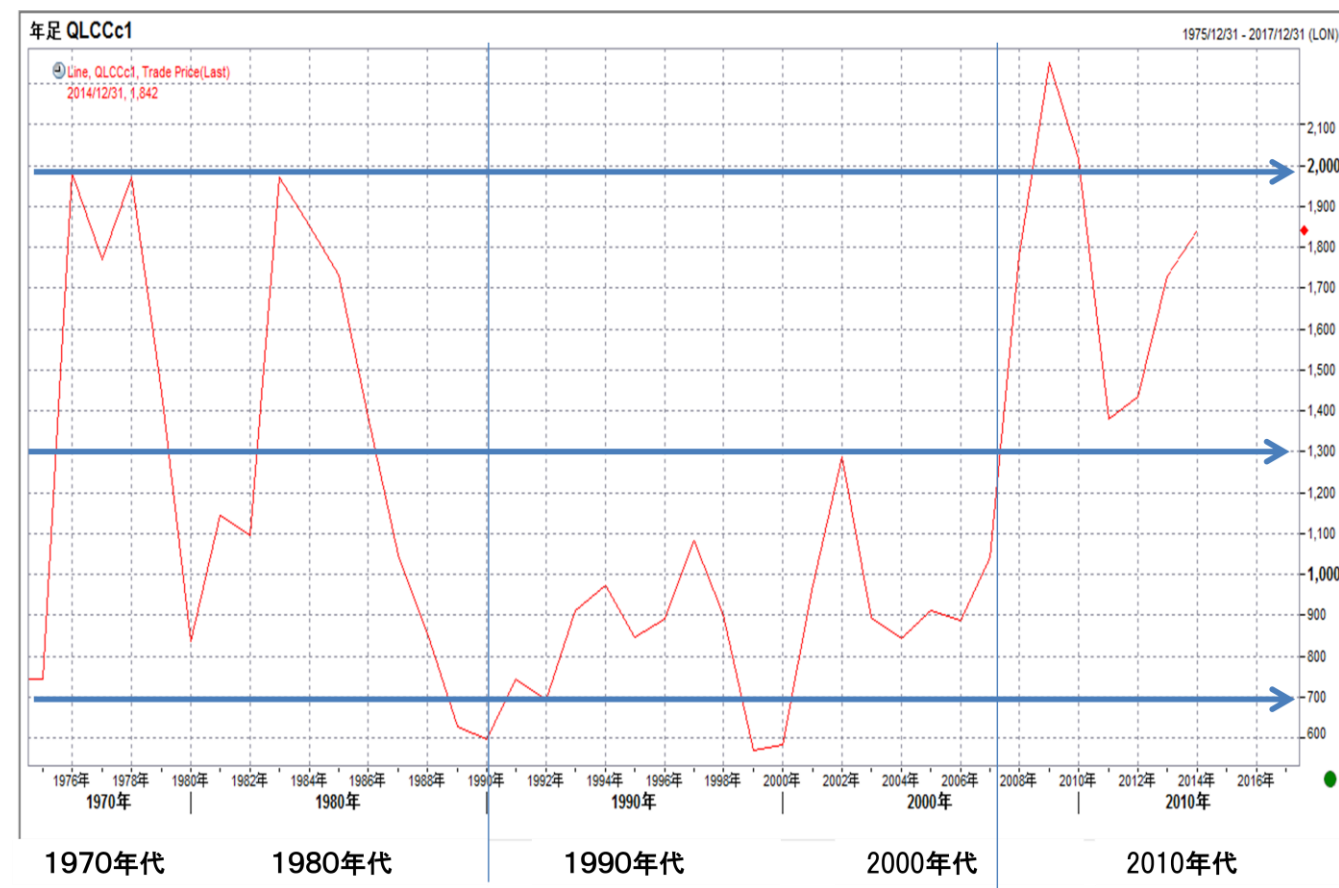
6、コートジボワール：1月までにカカオ豆の集荷量が 104 万 2000 トンに到達(1/27)

カカオ豆の輸出業者によると、10 月 2 日にシーズンが始まって以来、コートジボワールのカカオ豆の集荷量は 1 月 26 日までに 104 万 2000 トンに到達した。これは昨シーズンの 84 万 2000 トンよりもかなり上昇した早いペースである。

輸出業者はおよそ 3 万 3000 トンのカカオ豆が 1 月 20 日から 1 月 26 日までに、西アフリカの Abidjan と San Pedro の港へ運ばれると予測している。これは昨年の同時期の 4 万 2000 トンと比較すると減少している。

特集：過去 40 年間のカカオ相場の推移

カカオの価格の歴史： 70～90 年高騰、90～08 年低迷、そして 09～14 年再び高騰



上記の価格推移を見てみると、現在の 1850 ポンド付近の価格は歴史的にもかなりの高値水準であると分析できると同時に、2000 ポンド程度まで価格が上昇したことは 1970 年代よりこれまで 5 回程あることを考慮に入れば、そのレンジまで価格が上昇することも大いに考えられる展開である。

いずれにしても、10 年単位のトレンドでいえば、2010 年代は高値からの開始であり、個人的には長期的にも比較的高いレンジ 1500 円～2100 円での展開は長期間続くと思込んでいる。

* 特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp